

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	多重反射による空中ディスプレイの薄型化と水中 CAVE への応用～魚に映像を見せる～
研究代表者	山本 裕紹 (宇都宮大学・工学部・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、まず水中に映像を提示することが可能な多重反射・薄型空中ディスプレイを新規に開発し、これを用いた水中 CAVE を構築してヒトと魚に CG 映像を見せることで、水中視覚の知覚特性を解明し、またメダカの行動生物学的研究を行うものであり、さらには、フグの養殖管理タスクに当該映像技術を応用しようとする計画である。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>独自の空中ディスプレイを高画質化し、さらに、水中でも利用できるよう小型化する光学系の設計には学術的意義がある。これを用いて提示した水中 CG に対するヒトの映像知覚と魚類の行動特性が明らかとなり、新しい学問領域への展開が期待できる。</p>